血液透析患者の心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の有効性の検討

１．研究の対象

2016 年 4 月から 2019 年 9 月にかけて当院で高周波を用いた心房細動アブレーション治療を行った血液透析中の患者さん、および 2019 年 4 月以降、当院で高周波を用いた心房細動アブレーション治療を行った患者さん

２．研究目的・方法

心房細動に対するカテーテル心房細動アブレーション治療は広く効果が認められ、一般的な治療法として行われています。以前は血液透析中の患者さんの心房細動に対するアブレーション治療効果は非透析患者さんと比較し低下すると報告されてきました。しかしながら、近年カテーテルアブレーション治療は著しい進歩を遂げており、治療成績も向上しています。今回、心房細動を有する血液透析患者さんにおいて、カテーテルアブレーション治療の有効性及び安全性について検討します。

３．研究に用いる試料・情報の種類

治療に関するデータ（左心房内の低電位領域の有無）とその後の心房細動再発率、有害事象発生率の差に関して心房細動を有する非透析患者様と比較検討します。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院　循環器内科　林　克英　（研究責任者）
住所　熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号
電話番号　096－351－8000

以上